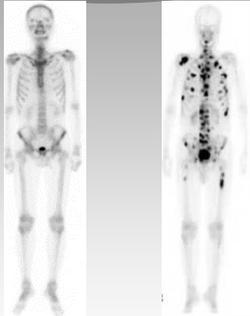


骨シンチグラフィ検査について

どんな検査？



正常例

疾患例

骨シンチグラフィとは、特殊なお薬が骨の代謝や反応が盛んな部分に集まる性質を利用して、がんの骨転移や外傷などの様子が分かる検査です。治療の前後に検査することで、治療効果を判定したり、疲労骨折や骨粗しょう症による骨折の早期発見に用いられます。

検査時の流れ



準備

特殊なお薬を注射します。全身へお薬がいきわたるまで2～3時間待ちます。この間、制限は一切ありません。

投与される放射性医薬品は必要最低限の量なので、体への影響もごくわずかです（レントゲン検査・CT検査と同等の被ばく量です）。

検査

検査直前に排尿し、装置のベッドに仰向けで横になり撮像します。検査時間はおよそ40分程度です。

検査の注意点

- 内服薬や食事などの制限はありません。
- 妊娠されている方、妊娠の可能性のある方、また授乳中の方は、検査前に担当者にお申し出ください。
- 使用する放射線医薬品は特殊な薬剤です。予約日時を過ぎてしまうと**当日の検査が出来なくなる**こともあるため、予約日時は必ずお守りいただくようお願いいたします。やむを得ず来院できない際は、前日までに当院にご連絡ください。

